

技術・経営力評価報告書

(評価タイプ: **標準評価型・オーダーメイド型**)

受付番号	02BX095
会社名	有限会社 金田商事

ヒアリング日時：令和3年2月1日 13:00~16:00

ヒアリング応対者：取締役社長 金田 大地 氏

令和3年3月10日

評価書発行機関：

公益財団法人ひょうご産業活性化センター



- 評価の結果は必ずしも融資の実行を約束するものではありません。融資は金融機関の判断に委ねられます。
- 本評価によって発生したトラブルなどについて、当センターは一切責任を負いません。

目次と評価内容

1. 評価対象企業・事業の概要

提出された書類およびヒアリングから、企業概要、直近3期の決算、主要取引先（販売先、仕入先）ならびに事業概要・評価対象事業を記入した。

2. 技術・経営力評価結果

評価項目		評価視点
(1) 製(商)品・サービス	① 新規性・独創性	評価対象事業の技術・ノウハウ、製品・サービス、管理運営技術、ビジネスモデルに関する新規性・独創性について評価を行った。ここで評価は学術的観点でなく事業的観点に基づくものである。
	② 優位性とその維持継続	評価対象事業の競合相手に対する優位性およびその維持継続について評価した。製品・サービスの商品性だけでなく技術力、営業力、ブランド力、知的財産なども対象とし、外部資源の活用なども評価した。
(2) 市場性・将来性	① 市場規模・成長性	対象製品・サービスの市場規模（潜在規模も）、市場安定性（需要変動）・成長性（今後の需要動向）について評価を行った。法令の制定・改正による影響や、代替製品の出現可能性なども考慮の範囲とした。
	② 競合関係	競合企業の状況と当社のポジショニング（業界内地位）、競争力を評価した。製品・サービスの寿命（代替技術による市場変化）や競合条件（新規参入・撤退動向、顧客の動向）も考慮した。
(3) 実現性・収益性	① 販売方法・販売価格	マーケティング計画（販売の基本戦略や実行計画）について、また戦略にもとづく販売チャネル、販売方法、価格政策などについて評価を行った。販売における競合企業との差別化状況も評価の範囲とした。
	② 生産・サービス体制	生産・サービスのための施設装置の整備や運営管理（生産・サービスの計画・実行、品質管理、市場・顧客対応など）について評価を行った。ISOなどの公的認証取得や改善活動の状況なども考慮した。
	③ 売上高・利益計画	今後数年間の売上高・利益計画を作成しているか、内容が具体的で実現性があるか、採算性はあるかなどの評価を行った。マーケティング計画や生産・サービス計画との整合性も評価の対象とした。
	④ 資金計画・資金調達力	売上高・利益計画実現に対する資金計画の妥当性ならびに事業の有望性、技術優位性、信用力などを考慮した資金調達力の評価を行った。
(4) 経営力	① 事業遂行能力	経営者の先見性、意思決定力、リーダーシップ、後継者育成などを考慮して評価を行った。
	② 人材・組織体制	事業遂行のための人材が確保されており、円滑な組織運営ができるか評価した。組織と個人の能力向上のための教育訓練や資格取得に取り組んでいるか、IT構築が出来ているかも評価した。

※各項目を1～5点の5段階で評価した。

3. レーダーチャート

上記（1）～（4）に含まれる10項目をレーダーチャートとして表示した。

4. 課題と問題点

ヒアリングなどを通じて明らかになった評価企業の課題と問題点、上記（1）～（4）に表せない事項、ヒアリング時の質問等に対する回答などを当該欄にてフィードバックした。

5. 総合評価

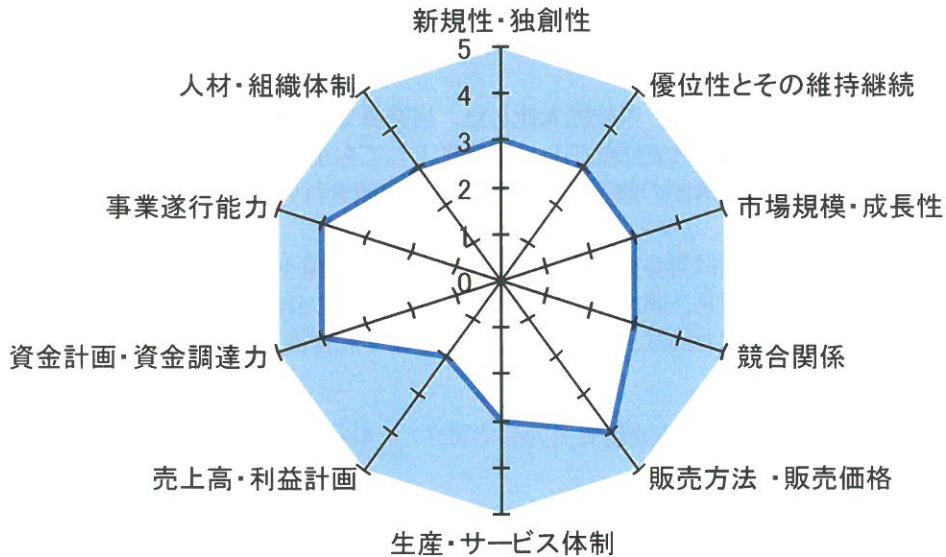
技術面の評価と全体的総合評価の2つの側面の評価を行った。

＜i＞技術評価：評価項目（1）の①②、（2）の①②、（3）①②〔前半6項目〕を総合して評価した。

＜ii＞全体評価：全評価項目をもとに事業可能性、リスク等を総合的に評価した。

これらの評価は5段階評価（1～5点）とし、さらに「-」「フラット」「+」のいずれかを付加することで詳細な評価を行った。最後に総合評価としての評価コメントを記述した。

3. レーダーチャート



4. 課題と問題点

現在抱える課題と問題点	評価コメント
新規販売先の開拓	<ul style="list-style-type: none"> 当社の売上高は減少傾向にある。鉄スクラップ市場に大きな影響を受ける業態のため、新規販売先を増やして、悪影響を受けるリスクを減少させるべきである。 顧客が増えると当社からの販売価格を競争させることができるために、買い取り価格を高値で維持することにつながる。
鉄以外の非鉄金属スクラップ発生工場開拓	<ul style="list-style-type: none"> ある。当社の利益増加のためには、非鉄金属スクラップ発生工場の開拓が望まれる。
品目別データ管理の実践	<ul style="list-style-type: none"> 販売金額、利益、販売量などを鉄スクラップと非鉄金属スクラップの品目別データで管理することが必要である。 非鉄金属スクラップ発生工場開拓の効果が検証できるため、利益改善活動につながることが期待できる。
クレーム報告書の作成	<ul style="list-style-type: none"> 当社はクレーム報告書を作成していないが、クレーム報告書に落とし込むことで再発防止のための工夫が生まれることが多い。 検索しやすいよう記録として残すことで、過去の工夫から学ぶこともできるため、品質改善につながることが期待できる。

5. 総合評価

技術評価	評価点数	5	4	③+	2	1
------	------	---	---	----	---	---

※ 技術評価は個別評価の前半6項目を総合した評価である。

全体評価	評価点数	5	4	③+	2	1
------	------	---	---	----	---	---

評価点数凡例（個別評価項目と総合評価の両方に適用する）

- 5=総合的に優れているレベル。個別評価にも優れた要素・事項が極めて多い。
- 4=総合的に良いと評価できるレベル。個別評価にも優れた要素・事項がある。
- 3=総合的に一応良いと評価できるレベル。しかし、個別評価では努力すべきもの、見直すべきものまたは留意すべき要素・事項がいくつかある。
- 2=努力すべきもの、見直すべきものまたは留意すべき要素事項が多く、総合的に良いとはいひ難いレベル。
- 1=極めて高いリスクまたは重大な問題がある。